

マイタケとは. . .

サルノコシカケ科、マイタケ属、マイタケ
(学名 *Grifola frondosa*)

高冷地の樹齢100年程度のみズナラ、クリなどの根下や枝枯れの部分、切り株などに発生する心材不腐菌である。傘は扇形で重なり合うような形できのこを形成し、時として大型の個体となる。香り、歯ごたえが良く極めて美味なきのこである。



発生したセンターマイタケ

図解マイタケ栽培の手引き —原木野外栽培編—

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会
きのこ振興センター

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会
きのこ振興センター

福島県郡山市安積町成田字西島坂7-2

電話 : 024(947)2188

FAX : 024(947)6926

電話: 024-947-2188

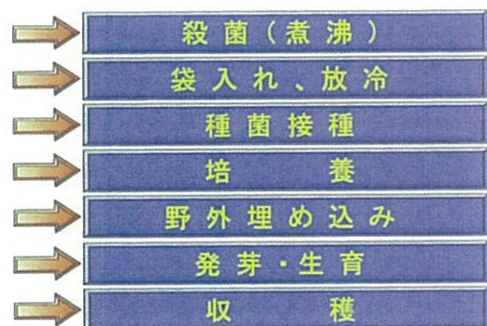
FAX: 024-947-6926

E.mail : fukukinoko@iaa.itkeeper.ne.jp

URL : www.fukurin-net.jp

図解マイタケ原木栽培法

1. 作業工程 (手順概要)



2. 原木の仕込み

○使用原木

適樹：ミズナラ、コナラ、クリ、ブナ、シイなど

原木の寸法：直径15～18cm、長さ18～20cm（太い原木は割って、細い原木はハリガネで縛って使用可能）

伐採時期は、秋～冬期（葉枯らしは不要です。）で玉切りは殺菌直前におこなってください。伐採後は直射日光を避け保管してください。

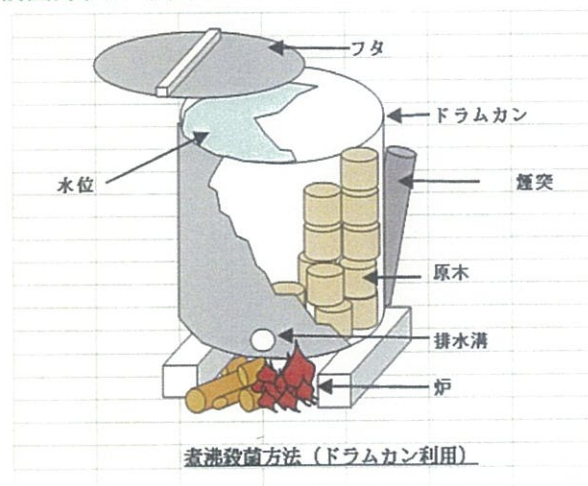
○使用袋

フィルター付きP.P製（耐熱性）を使用します。メーカーにより多少仕様が異なります。

○仕込み時期（殺菌から接種の操作）

仕込み時期は、野外の害菌の少ない1月～3月までに行ってください（冬季間～初春）。

殺菌方法は下図のとおりです。



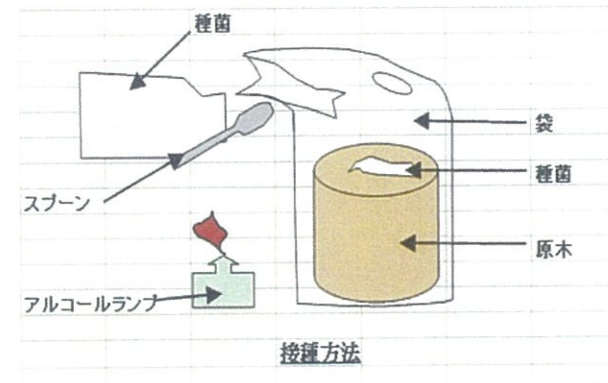
○殺菌（煮沸殺菌）

ドラムカンなどを利用し、直接原木を煮込みます。殺菌時間は沸騰後5～6時間が目安となります（殺菌時は常時沸騰状態を維持する。）。空のドラムカンに原木を入れ、水（水道水可）を8分目まで入れてから火を焚き煮沸殺菌を開始します。沸騰までには1～2時間要します。殺菌時間は沸騰後の時間となります。

必ず火を入れたらドラムカンのフタは閉めます。煮沸殺菌中、ドラムカンのお湯は減りますので2～3回はお湯を足すようにしてください（図参照）。

○袋入れ

殺菌終了時より約30分放置後、排水と同時に迅速に原木を袋にいれます。作業は迅速におこない原木を袋に入れたら袋の上部を少し折るようにして害菌が入らないようにしてください。使用したお湯（水）は多少原木のシブが出ますが再度使用は可能です。



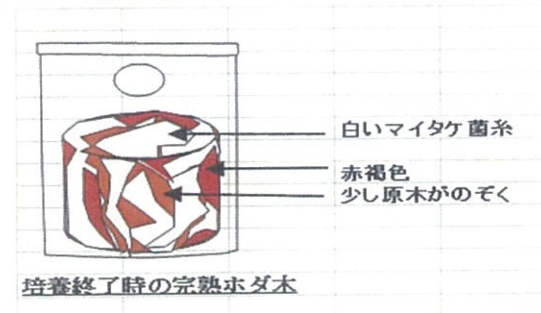
○放冷及び接種

放冷後、必ず原木温度20℃以下に下がってから接種作業を行います。接種作業は清潔な室内で清潔な服装で殺菌した器具を使用し1袋に約40ccの種菌を接種します。袋と種菌の口は必ず横向きにし迅速に作業を行ってください。袋の口は上部を3つ折にしホチキスなどで止めます（図参照）。

3. 培養

○期間

接種終了後、温度19～22℃、湿度65～70%で100～130日間培養します。完熟の目安は、袋周囲がやや赤褐色になる頃です。積算温度不足の場合は、多少追加日数を必要とします（図参照）。



簡易的な培養は、納屋などを利用しておこないます。ストーブなどで暖房をする場合は火の取り扱いと換気に注意し管理してください。

5月頃より気温が上がり始めたら換気などで温度管理をしてください。室温は30℃以上は厳禁です。

4. 本伏せ（埋め込み）

○時期
 完熟し、全体が褐色もしくは赤褐色のものは7月頃、未熟ホダ木は秋～翌年に埋め込みます。

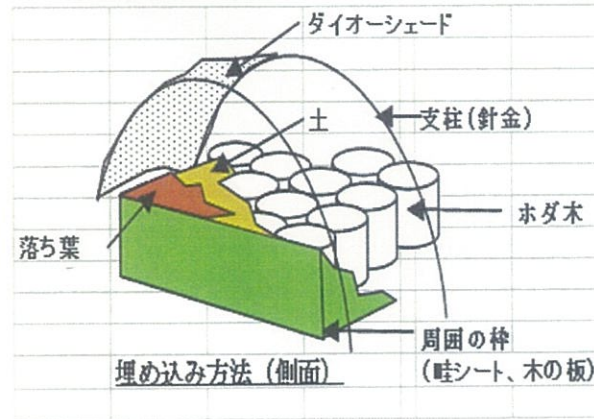
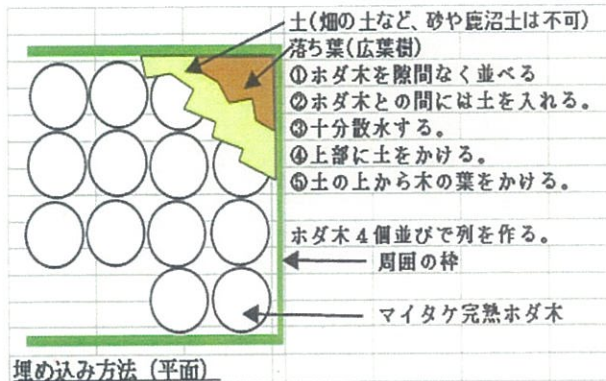
春伏せ込み：5月上旬～7月中旬

秋伏せ込み：9月下旬～11月中旬

○埋め込み方法

ホダ木を袋から取り出し、図のような高床方式で発生床を作り、上部より十分散水を行います。排水には考慮し、覆土の厚さは3cm程度とします。

また、乾燥と土によるきのこ汚れ防止のため、覆土の上に広葉樹の落葉をかけ、さらに風と直射日光を防ぐためダイオーシェードなどでトンネルを設けます（写真参照）。



写真：露地でのマイタケ発生の様子（10月）

5. 発生

過乾燥は、原基形成に悪影響を及ぼすため、水管理に十分注意し、こまめの散水や薄いシートによりホダ床の乾燥を防ぎます。子実体（きのこ）生育中の雨（水）は、泥により品質低下につながるため、雨よけには配慮が必要です。

また、発生に備え9月上旬には伏せ込み場所の草刈り（むしり）を行います。通常発生は本伏せ込みの翌年から9月下旬～10月上旬が発生時期となります。

6. 収穫

収穫の目安は、傘の根元の裏が白色から黄色味を帯びた時期を適期とします。収穫期間は管理状況、原木の樹種、太さなどによって異なりますが4～6年発生します。

7. その後の管理

収穫後、採り残りのきのこカスは雑菌発生の原因となるので取り除き露出した部分には土をかけ、落ち葉を補充して次年度の発生に備えて下さい。